

## <第4260回>

目的地：宝満山（福岡）

担当者：山本

実施日：2022年6月18日（土）～19日（日）

形式：テント泊縦走

費用：¥18,190.-（大阪市内発着＋温泉代）

参加者：2名

### 行程：

18日（天気：晴）

新大阪駅(7:35)⇒(10:11)博多駅(10:17)⇒(10:31)薬院駅(10:50)⇒(11:16)太宰府駅(11:19)→太宰府天満宮→宮前BS(12:13)⇒(12:19)内山BS→(12:23)竈門神社(12:37)→(12:45)車道[昼食](13:00)→(13:23)一の鳥居[林道終点](13:30)→(12:47)休宮跡(12:54)→(14:24)百段ガンギ(14:30)→(14:45)中宮跡(14:52)→男道分岐(15:00)→(15:15)宝満山(15:35)→キャンプセンター(15:45)[16:30夕食 21:00就寝]

19日（天気：霧のち晴）[4:30起床・朝食]

キャンプセンター(6:05)→(6:22)仏頂山(6:27)→(6:52)P856m分岐(6:58)→頭巾山(7:13)→(7:39)三郡山(7:49)→(8:36)P782m南鞍部の分岐(8:43)→(9:28)砥石山(9:40)→鬼岩谷(10:00)→(10:47)ショウケ越[昼食](11:10)→(12:00)若杉山(12:15)→(12:18)太祖神社(12:34)→(13:12)綾杉(13:16)→若杉キャンプ場(13:25)→(14:02)若杉の湯[入浴](15:33)→(16:12)篠栗駅(16:16)⇒(16:37)博多駅[夕食・買い物](17:59)→新大阪駅(22:38)[解散]

### 感想：

西鉄の太宰府駅に到着すると駅前からすぐ太宰府天満宮への参道が始まります。ようやく観光客も戻ってきたようで両脇にある名物の梅ヶ枝餅を売っている店やお土産屋さんも賑わっていました。天満宮に入ると綺麗なアジサイの花手水が目を引きました。本殿にお参りした後、コミュニティバスで登山口の竈門神社へ。こちらは静かな神社でしたが、手水や池、参道などあらゆるところがアジサイで彩られていました。神社の脇を抜けしばらくすると宝満山への登山口があります。少し上って車道に出たところで昼食を済ませ、いよいよ本格的に登山開始。一の鳥居までは緩やかに登って行きます。宝満山では6月頃、麓で生まれたヒキガエルの子供が集団で山頂へと登って行くらしいのですが、見かけたのは3匹のみ・・・(^.^) もうちょっとカエルを見たかったです。一の鳥居から登山道の傾斜は急にきつくなり上に登るに連れてもっと傾斜がきつくなります。重たいテント装備に悪戦苦闘しながら登って行く中、ついに百段ガンギが現れました。延々と続く石段を見た瞬間、登る気力が薄れチョット休憩。気を取り直して重い腰を上げ、一気に切り切つて中宮跡に到着。ここまで来れば山頂まではもう一息です。最後の岩場を抜けて山頂に到着。竈門神社の上宮が鎮座していました。宝満山の山頂は結構広くて一箇所から360度見渡せるところはありませんでしたが、眺望のいいところが何ヶ所もあってとても良かったです。しばらく山頂を堪能した後、キャンプ場へと下って行きますが、これが意外と手怖い岩場でした。テント場は広々とした平坦なところで20張り以上張れるとてもいいテント場です。水場も近いしバイオトイレもあるとても快適なテント場でした。食後はキャンプ場を管理されている方や他の登山者の方と少しお話をさせていただいて、お酒も頂きました。本当に素敵なテント場でした。

翌朝、天気予報は晴だったのですが、テント場の回りは濃い霧に包まれていました。霧の中を6時に出発。宝満山から先、三郡山方面は多少のアップダウンはあるものの快適な縦走路でした。途中、ガクウツギの花が沢山咲いていたのが印象的でした。この山行の最高地点である三郡山に到着したものの霧は相変わらずで期待していた展望は望めませんでした。その後徐々に晴れ間が広がり、砥石山あたりではすっかり晴天になりました。ショウケ越で昼食を取り、若杉山まで最後のひと登り。若杉山直下の若杉ヶ鼻からこれまで縦走してきた尾根が見通せました。三郡山もはっきり見えてとても良かったです。若杉山からの下りは「大和の森」と名付けられていて、大きな杉が沢山残っているとのこと。その中の「七又杉」と「綾杉」を見ましたがとても立派な古木で生命力を感じさせてくれました。

14時頃、若杉の湯に到着。お風呂で縦走の汗を流した後のビール、メッチャ美味しかったです(=^\_^=)その後40分ほど歩いてJR篠栗駅に到着。博多駅に出て、夕食に美味しい博多ラーメンを食べて、お土産買って、大阪まで「こだま」で4時間半かけて帰りました。

天気も良くて楽しい二日間でした。わざわざ九州まで出かけた甲斐がありました。

### 特記：

・JTbの「トクトク！ひかり・こだま」を利用しました。往復16,600円